

# 考えていますかあなたの水

水は、太陽や空気と同じく、私たち人間はもとより地球上のあらゆる生物にとって欠くことのできないものです。また、私たちの暮らしている、農業、工業などの産業活動を支える重要な資源です。八月一日から十日までは「水の週間」です。今日では特に「蛇口をひねると出てくる水」——水道について考えてみましょう。

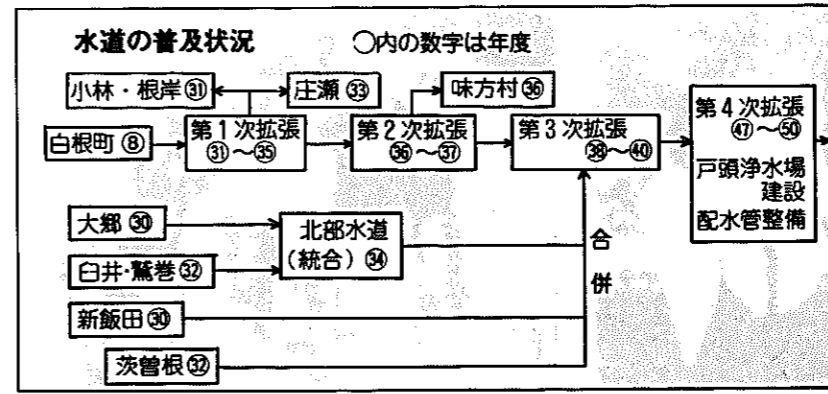


**白根市の水道の歴史**

白根市の公設水道は、昭和八年に諏訪木に初めて浄水場が完成し給水したのが始まりです。それまで飲料水や雑用水は、井戸や川水をくんで使っていました。この水は非衛生的で、さらに各家庭でろ過しなければならず、当時は水道にかける期待は大きなものではありませんでした。

また、合併前の八か村では戦後次々と、各部落単位で簡易水道組合(最盛期には三十二組合)がつくられ、自前の水を部落の家庭へ届けてきました。そして、昭和二十九年、旧大郷村が赤洪に浄水場を完成したことを皮切りに、簡易水道の運営も部落単位から村単位に移行されました。その後、合併、拡張をくり返しながら昭和三十三年に全市供給が可能となり、五十年に最後の拡張工事を完成し、五十三年には普及率一〇〇%に達し今日に至っています。

第四次拡張工事前は、市の末端



の水の出が悪く黒崎町(昭和四十五年六月~四十九年一月)、加茂市(四十五年十二月~四十九年七月)から水を買って、やりくりしていた時期もありました。

**昭和五十七年度 ガス水道会計決算(見込み)**

ガス水道局では、市民生活に欠くことのできないガス・水道の安定供給をめざして、五十七年度の業務に取り組んできました。このほど決算(見込み)がまとまりましたので、お知らせします。この決算は議会に、はかられることになっています。

**ガス**

三月三十一日現在、都市ガスを使用する家庭味方村を含むは、前年度より百五十戸増えて八千五百三戸になりました。また、供給量は一〇・五%増の五百九十立方メートルとなりました。

建設改良工事については、すでに拡張事業も完了したことから、五十七年度は主として老朽ガスの敷設替え、供給管の入れ替え工事などを行ってまいりました。また、みの口ガスホルダーの開放検査の実施や、緊急作業用自動車の整備など保安面にも重点を置き、安全供給に努力しました。

営業面では、ガス販売量の増加と、昨年二月一日に行った料金改定により料金収入が増収となったことから二十八万円の単年度純利益を上げることができました。これにより、繰越欠損金を解消することができました。

**水道**

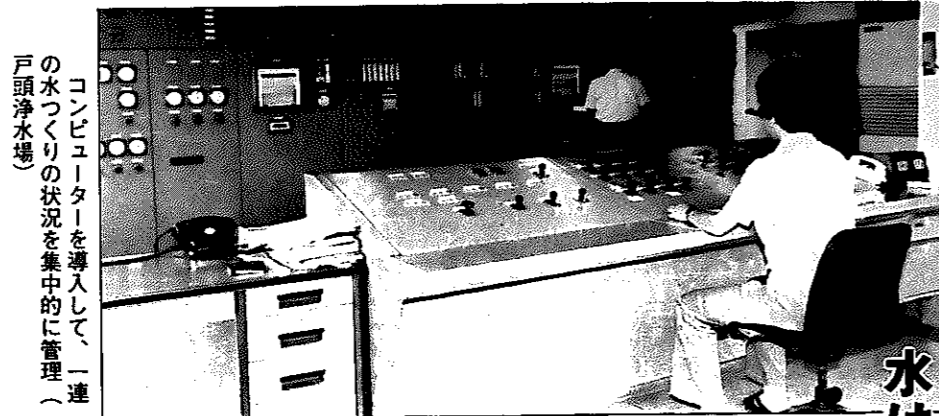
水道の給水戸数(味方村を含むは、前年度より百二十六戸増え八千七百十八戸になり、給水量も前年度より二十二万五千立方メートル増えて四百七十七万八千立方メートルになりました。

水道の安定供給のため、配水管の整備改良工事や配水ポンプ・取水ポンプの整備、それに配水管の漏水調査などを行ってまいりました。

営業面では、水の需要が増え給水収益が上がったことと、経費の節減に努めたことから、五千八百一十一万円の単年度純利益が生じました。

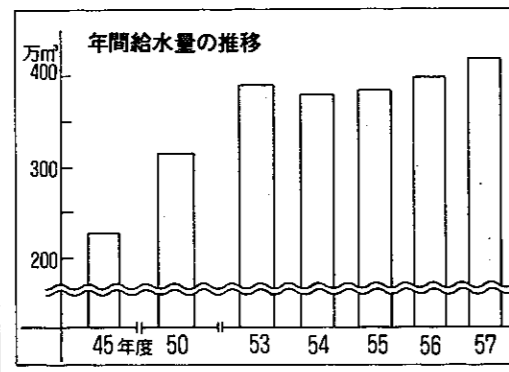
※次のグラフは営業面を表したもので、建設改良費などの資本的収支は含みません。

## 水はつくるもの



コンピューターを導入して、一連の水つくりの状況を集中的に管理(戸頭浄水場)

毎日、なにげなしに使っている水道水。私たちの暮らしには、一日たりとも水を欠かすことができません。家庭で使う水のほか、学校や病院、事業所、また火災時の消火用水など、あらゆるところで、いろいろな用途で使われています。この水は、中ノ口川の水を戸頭



浄水場で安心して飲めるきれいな水につくりかえて、各家庭へ届けられています。このような水も限りある資源の一つです。

「中ノ口川の水があるうちは大丈夫」と思っていますか。使用量が浄水場の給水能力をオーバーすれば、いくら蛇口をひねっても水は出てきません。また給水能力内の水需要でも、川が濁水すれば同じことです。

生活水準があがり、住宅団地、工業団地の造成が盛んになれば、水需要の増大は必至です。ガス水道局では、水資源の確保と経営の安定を図りながら、常にきれいで安い水を豊富に送ることを心がけ計画的な施設の整備によって、将来の需要増に備えています。

**お宅の水は漏っていますか**

水道が漏っていると、水道料金

を余分に支払うこととなります。ときどき、水道メーターを見て漏水があるか調べてみましょう。調べ方は、すべての蛇口を止めてメーターを見ます。メーターの赤い星が回っている時は漏水しています。

漏水している時は、すぐに市の公設水道工事業者へ連絡し、修理してください。また、いつでも検針できるようにメーターボックスの上に物を置いたり、犬を近くに近づけないようにしてください。

**戸頭浄水場を見学しませんか**

清浄な水をつくる所、それが浄水場です。戸頭浄水場では随時、団体などの施設見学を受け付けています。見学したい人は戸頭浄水場(⑯)二〇四五へ連絡してください。

## 水道メモ



- ☆戸頭浄水場の給水能力
- 給水人口 42,000人
  - 1日最大給水量 25,000m³
  - 1人1日最大給水量 595ℓ

☆水1ℓのお値段  
家庭用メーターで9銭強です。

- ☆水道使用量(57年度実績)
- 最も水を多く使った日は、意外にも夏ではなく2月16日で21,050m³。これは、凍結防止で家庭で行うわずかのたれ流しによるものです。
  - 逆に最少日は、1月3日の9,070m³。
  - 1年間で使った水の量は、4,178,018m³。この量は市役所庁舎(17,453m³)を升にして量ると約239杯に相当します。1日平均の使用量は11,447m³で、200ℓドラム缶に換算すると約57,000本になります。
  - 1人1日当たりの使用量は、295ℓ。

☆配水管の長さ(57年度末現在)  
みなさんの家庭に水を送っている本管などの長さは215.9 kmで、燕三条駅から上越新幹線に乗ると、埼玉県の熊谷駅の少し手前まで行きます。

